

III 要 約

仲里村宮クルマエビ養殖場(25,000㎡)において、その利用方式を講ずるため、昭和49年5月20日から9月9日までの間、養殖試験を行った。その結果、施設費が大きいこと、また面積が小さいため、全面的に施肥方式を導入することは難しく、施肥方式の考え方を取り入れた給餌方式によるざる得ないことが明らかにされた。

今後本養殖場を運営していくのに必要な措置と技術的課題を指摘した。

参 考 文 献

鹿児島県水産試験場(1972)特集新しいクルマエビ養殖技術の普及について

石岡宏子(1973)クルマエビ人工稚苗の生理生態に関する研究

南西海区水産研究所研究報告第6号

今井丈夫(監修)(1971)浅海完全養殖 恒星社厚生閣

大島泰雄編(1969)水産養殖ハンドブック 水産社

日本水産学会編(1973)水圏の富栄養化と水産増養殖 恒星社厚生閣

諸喜田茂光(1970)アフリカマイマイ餌使用によるクルマエビの養殖試験

1970年度琉球水産試験場 事業報告書